

クマ騒動について

連日報道される東濃一円のクマ騒動。今騒がれているクマはツキノワグマだと気付いたのはつい最近です。

今まで何頭か捕獲または射殺されましたが、その後はどうなったのでしょうか。はく製に変わったのでしょうか。現在も山中にいるクマたちを1箇所に集めてクマ牧場のように保護したらどうでしょうか。早くこのクマ騒動が良い結果で終わることを望んでいます。

(渡辺さん・大井町)

答 ツキノワグマは、体長110―135センチ、体重40―130キログラムで主な食べ物は木の実(ドングリなど)、山菜(タケノコ、フキ、木イチゴ、ヤマブドウなど)ハチミツ、昆虫(アリ、ハチ、木

ただける広報えなとなるよう、分かりやすい表現に努めていきますので、これからもご意見をお寄せください。

(まちづくり推進課)

信号機の設置を

市内雀子ヶ根交差点付近に居住しています。現在新たに住宅が1棟建設中ですが、国道19号に通じる道路と、国道19号との交差点の信号機設置は当分ないのでしょいか。人口増に伴い交通量が増加すると、信号機がないと何かと不便になると思っています。他にも道はありませんが、細く不便です。

(渡辺さん・大井町)

答 一般国道19号は、国土交通省多治見砂防国道事務所において、恵中拡幅事業計画に基づく用地取得が進められています。現在の雀子ヶ根交差点付近も、信号機による交通渋滞の緩和と対策が図られる計画となっています。市としても、恵中拡幅事業の中でより一層の交通安全対策が図れるよう要望してまいります。

(防災対策課)

の芽、人里近くでは栗、柿、リンゴなどです。

ブナの実は、年によって豊作と凶作の差が激しく、豊作年の翌年は例外なく凶作となり、統計上、凶作の年にはクマの出没が多くなります。今年は凶作で、クマの出没目撃件数が岐阜県内でも、昨年90頭であったのが本年9月26日現在で269頭となっており、東濃地域および飛騨地域が非常に多くなっています。

現在、恵那市では10月5日の新聞折込においてクマに会わないための対策などをお願いしています。またクマの捕獲許可は出ていますが、山狩りなどを行いクマを捕獲するのではなく、クマが人里にて被害を及ぼす恐れがあるときに、すぐに捕獲できる体制をとっています。

また恵那市で捕獲されたクマにつきましては、岐阜大学応用生物科学部で岐阜県のツキノワグマの個体年齢、体格、食性などに関するデータを収集し、生態の把握をすることでツキノワグマの保護管理を行うための基礎資料とされています。

(林業振興課)

地域福祉の場に若年層の意見も取り入れたい

地域のいろいろな協議会に参加させていただいていますが、会のメンバーがいつも同じです。特に年齢層が高く、地域で役職を持った人ばかりです。20―40代の人ほとんど参加していません。子育て真っ最中の人たちの意見が反映されていなく、高齢者の問題ばかり。これからの担う若者たちが、誇りに思えるまちづくりを考える場を作ってほしい。

(平成18年度市政モニター)

答 ご意見のように、福祉施策に限らずいろいろな事業を進める中に「協働」という考え方を持って事業推進を図ることとしていきます。協働とは、市民の皆さんと行政が対等な立場で議論し合ったり、皆さんから提案を聞いたりして、お互いが補完し合ったり地域づくりやサービスを起こそうとするものです。ご提案のように各年代層、いろいろな立場、地域ごとの意見や提案が出せる場や方法を作っていくよう考えていますのでご理解ください。

(まちづくり推進課)

岩村城の今後は

美濃国(濃州)岩村城がようやく本年、日本百名城に選定されました。築城以来800年以上経過し、今後城壁の修復や補修など維持管理が課題となります。観光資源でもあり文化的価値の高い歴史的建造物でもあります。行政としてどのような対策や指針を検討されているのでしょうか?

(浅見さん・岩村町)

答 貴重な文化財として大切に保護、保存しながら活用を図っていききたいと考えています。現在、目に見える遺構としては江戸時代の石垣や井戸、屋敷跡地、中世の堀や土塁などですが、これらがそれほど改変されることなく、良好な状態で残されてきたことが100名城選定の大きな理由です。また地中には、築城以来の遺構が埋もれている可能性が高く、今後は古文書などの文献資料の再検討や考古学的な調査などにより、800数十年の城の履歴を明らかにしていく作業を進めながら、保存・活用策を検討してまいります。

(文化課)

広報に使用する用語(字句)について

最近、市からの文書などにカタカナや英語の文字が目につきます。わざわざカタカナや英語を使わなくても漢字で十分伝わると思っています。私たちの自治会では、高齢者の比率が高く、新しい言葉や文字はなじむのに時間がかかります。英語にはひらがなや漢字を併記するなど、誰が読んでも理解できる平易な文書でお願いします。

(匿名)

答 広報えなの漢字やカタカナなどの表記については、新聞に使用されるものを基準にしています。ご指摘のとおり、最近では新しい言葉や新しい施設の名前などカタカナのものが多くなってきています。

英語については、広報の文中ではほとんど使うことはありませんが、タイトルのINFORMATIONなどはカタカナの表記も併せて表記するようにしています。

いただきましたご意見を参考に、これからも皆さんに読んでい

ちょっと一言インタビュー



馬頭琴の音色を聴いて
曾我 ゆり乃 さん
(武並小学校6年生)

馬頭琴のことは「スーホの白い馬」を読んで知っていましたが、実際に音を聞くのは初めてでした。たった2本の弦で、明るい音、暗い音が表現できておもしろいと思いました。



コンクリート舗装を体験
石田 祐貴 さん
(県立恵那農業高等学校2年生)

農作業は慣れているけど、コンクリートをならすのは、予想以上に力がいる作業でした。同時に敷き詰める高さを隅々まで均一にするのは、見かけよりも細かい作業で苦労しました。



作った陶器に愛着
鈴木 香奈子 さん
(山岡町原)

以前から陶業センターの講座に参加し、湯飲みや五月人形などを作り、家に飾っています。今回のシーサーも守り神として玄関に飾る予定です。今から焼き上がりがとても楽しみです。



テナーと過ごした高校生活
鷹見 ゆりな さん
(県立岩村高等学校3年生)

岩村高等学校吹奏楽部で3年間テナーサクソと過ごしてきました。消防音楽隊とのコンサート演奏が最後。母校が無くなるのは寂しいけど、卒業後もテナーとかかわっていききたい。